

アメリカ研究所 「部門研究3：Transient Subjects/Unsettled Setters」 主催

# African Honeypot: Forging Third-Gender Identity in the Portuguese Colonial World

ポルトガルがアフリカ大陸からヨーロッパや新大陸へ送った奴隷の数は 580 万人。15 世紀に始まった奴隷貿易はアフリカの経済・文化・言語に癒すことができない断裂をもたらした。本報告は、1555 年ごろにベニン王国から拉致され、奴隷とされた「ビトーリア」という人物の苦難を辿る。

両性具有者であったこの人物はポルトガル語の女性人称代名詞を自称に用い、「アントーニオ」の名を強要する奴隷主の意に反し、「ビトーリア」と名乗り続けた。毎夜、女性の服をまとい男性を求める彼女は、ポルトガルの異端審問にかけられる。本報告では裁判記録から、アフリカにおける「第三の性」の役割とポルトガルの帝国主義的家父長制から見た彼女のアイデンティティ、そして異郷の地で愛を求める彼女の行動の意味を明らかにする。

SK119 (志高館119教室)

2023 年 7月 26日 (水)

16:30-18:00

ご自由にご来場ください。

講演は英語。通訳なし。

**Prof. Matthew Pettway**  
(南アラバマ大学)



MATTHEW PETTWAY